



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

## 恵比寿本社ビルリニューアルについて

2023年5月29日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、「社会との新たな共通価値の創造」を目指し、当社恵比寿本社ビル（本館）の応接フロアを2023年9月よりリニューアルオープンしますので、お知らせします。

### 1. 背景・概要

当社恵比寿本社ビル（本館）は竣工から27年が経過しており、現在各所のリニューアル工事を行っています。コロナ禍が収束しつつある中、社会との新たな共通価値創造に向け、「リアルを極める」「激論をかわす風土創り」をコンセプトに、社内外の打ち合わせを通じて様々なアイデアが出てくるような工夫を凝らし、2022年9月より応接・会議室フロアのリニューアルに着手しました。

また、エントランスは、当社とお客さまが初めて出会う場でもあり、お客さまとともに新たな共通価値創造を目指すうえで、当社の取り組みをより一層お客さまにご理解いただけるよう、大型LEDビジョンの設置等のリニューアルを実施しました。

### 2. リニューアルの内容

#### (1) C-TERRACE<sup>※1</sup>（応接・会議室フロア）

##### フロアレイアウト

～ オープンスペース化し、フリーアドレス等による新たな働き方を進める ～



- ・従来型の会議中心の働き方から、必要な時に必要な人で打ち合わせを行う働き方へ繋げる
- ・情報伝達が主である大規模会議は原則リモートとし、少人数でのディスカッション等は対面で行う等、目的に応じてスペースを使い分ける

##### < サステナブルなオフィス環境 >

- ・タイルカーペットは、リサイクル素材を使用しているエコマーク認定商品・グリーン購入法適合品を採用
- ・オフィス家具は、加工が難しくチップや薪など燃料としての利用が中心である国産の広葉樹小径木を使用した製品や、グリーンガード認証<sup>※2</sup>取得製品等を採用し、木材の価値の再発見等サステナブルな活用を推進
- ・環境や省エネにも配慮しLED照明を設置

※1 Connect(繋がる)・Communication(意思疎通)・Create(創造)等の様々なCを実践するフロア

※2 室内環境に悪影響を与える有害物質の放出を最小限に抑えたオフィス家具等に与えられる世界共通の環境基準



AD café  
2023年2月完成



GREEN COMMUNITY  
2023年9月末完成予定



SESSION  
2023年2月完成

(2) エントランス

当社の取り組みをお客さまへ、広く、視覚的にアピールする大型ビジョンを設置



本社ビル本館  
2023年3月完成

- ・大型LEDビジョン(2.5m×3.0m)のフレームには、有機物質を含まない天然素材を採用
- ・植栽は持続的成長をイメージしオリーブを設置

椅子の周りに木材・グリーンを取り入れ、お客さまに寛ぎと安心感を与える場を提供



- ・FSC認証<sup>※3</sup>間伐材等を使用したチェア<sup>※4</sup>やテーブルを採用
- ・植栽はドラセナ・ユッカの樹を設置し、「真実」「勇壮」「発展性」を表現

※3 環境、社会、経済の便益に適い管理された森林から生産された林産物を使用する森林認証の仕組み

※4 アイリスチトセ社のオフィス家具コレクション enKAK(エンカク)を採用。FSC認証を受けた間伐材とペットボトルをリサイクルした糸を用いた張地を使用

### 3. 今後の展開

当社は、新たな働き方の定着に向けたオフィスリニューアルを進めるとともに、気候変動問題等の解決に資するサステナブルなオフィス環境の構築を今後も進めていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

